



あさやま

令和7年1月30日発行
第93号
朝山コミュニティセンター
事業委員会 広報部



年頭にあって

朝山地区自治協会 会長 板垣勝正



あけましておめでとうございます。

昨年は、能登半島地震、羽田での飛行機事故など痛ましい出来事があり、震災問題、開港100年などの世相の乱れや、猛暑日が続く温暖化の直撃など大変な年だったと思います。一方、オリンピックや大谷翔平選手の活躍、また、大社高の感動を覚える試合など明るい話題のある年でもありました。

朝山地区では昨年、大きな災害、事故もなく比較的平穏に、運動会、文化祭など、各行事も多く皆様方の参加を得て開催することができました。

地区民の皆様や各団体の皆様のおかげと感謝申し上げます。

今年も防災、災害に大きな役割を担っていただいています。消防団組織の二部制への移行対応、令和六年、七年度指定を受けています。出雲市同和教育研究指定事業の推進協力、道路、河川等インフラ整備の要望活動、学校教育環境の支援等を意見交換しながら進めたいと考えていますので皆様方の一層のご協力をお願いします。

新しい年が、良い年となりますよう祈念し年頭の挨拶と致します。



12月7日

南部6コミセン合同自主企画事業

須佐を歩こう！交流ウォーキング



南部地域の参加者65名が須佐地区のウォーキングを楽しみました。6.9kmのコースを歩き、目田森林公園→多倍神社→カウベルを訪ねました。

12月20日

朝山地区社会福祉協議会

お餅つき ペッタン！ ペッタン！



朝山幼稚園で、日ごろお世話になっている地域の方を招いて、餅つき会が開催されました。親子で餅をついたり、出来上がった餅を丸めたり、楽しいひと時を過ごしました。

12月1日

まちづくり部事業

しめ縄リースづくり



「人権教育」と「同和教育」

朝山地区人権・同和教育推進協議会 (同推協)
会長 成相 友之

今年度から(2年間)市研究指定事業を受けており、それに伴い各町内会に「ミニ集会」をお願いしたところ、今年度末までにすべての町内会で実施していただき、ご理解ご協力に深く感謝いたします。

ほとんどの町内会で、聞くだけ・見るだけの研修ではなく、感想や意見を出し合っていたことに多大な成果を感じているところです。

そこで、出た意見の中で今一度整理が必要と感じた事項がありました。それは、「人権教育」と「同和教育」はどう違うのか？ということです。

結論から言えば、「人権教育」と「同和教育」は成り立ちが違いますが、めざすものは同じだと捉えています。

私たちの生活の中で差別や偏見につながる問題(課題)は、近年特に広範囲に広がっています。みなさんからのアンケートでも「ハラスメント」や「多様な性のあり方」等に関心を寄せていただいたように、現在多くの「人権課題」が指摘されており、その中でも未だに解決されていない大きな課題が「同和問題(部落差別)」です。

そこで出雲市では、同和問題を人権問題の重要な柱として捉え、今までの同和教育の成果を生かし、あらゆる差別の解消をめざす人権教育を推進するとしています。

このことを踏まえ、市内の多くの同推協でも「人権・同和教育」という標記をして、幅広い啓発活動に取り組んでいます。

今後も様々な人権課題の解決に理解が深まるよう活動を続けていきますので、引き続きご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

世帯数と人口

2024.12月末現在(昨年同期)

世帯数 593戸(586戸)

人口(男) 722人(730人)

人口(女) 840人(858人)

計 1,562人(1,588人)

ふるさと朝山で見られる動植物 シリーズ ⑬

テン(ホンドテン)

テンという動物をご存じでしょうか。体形が似ているイタチの名前はよく知られていますが、テンについてはあまり知られていないかもしれません。テンはイタチ以上に身近に多くいる動物ですので、これを読んで覚えておいてほしいと思います。

テン(ホンドテン)は、体長は44~55cmほどの中型の哺乳類で、尾が17~23cmあり先端が白くなっています。本州・四国・九州に分布する固有の亜種で、夏毛は赤茶色や暗めの茶色で顔や手足は黒く、喉から胸部は橙色です。ところが冬毛になると、黄色や黄褐色で頭部が白い美しい色に変身します。以前は、この美しい毛皮をマフラーとしてよく使っていました。最近では見る機会がなくなりました。

低山から亜高山にかけて生息し、雑食性で昆虫や甲殻類・小型哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類などの動物類や、サクラの果実など甘いものも好んで食べます。本来は大木の樹洞などを棲み家としますが、近年ではそんな樹洞が少なくなったこともあり、よく民家の屋根裏を棲み家とすることがあります。ムササビの紹介の中で述べたように、屋根裏で過ごすのは多くの場合テンかムササビで、ムササビはドスン・ドスンと大きな音をたてますが、テンの場合はコト・コト・コトとムササビほど大きな音をたてません。

テンは夜行性の動物ですので、昼間はまず見ることはありません。では、どうすればその存在を知ることができるのかというと、糞と足跡が分かりやすいのでその特徴を覚えておきましょう。糞の場合は、縄張り宣言のためによく目立つ石の上やコンクリートの端などにします。形状や大きさはお菓子のかりんとうを思い浮かべていただければよいでしょう。また、足跡は2個づつ連続した特徴のある足跡を残しますので、すぐわかります。写真を参考にして、家の周りで確かめてみましょう。

馬木町 佐藤仁志



▲ テンの糞



▲ テンの足跡

